

たけた

市議会だより

2012.5.1

No. 27

シリーズ
祭



岡城桜まつり

4月1日(日)、竹田の春の風物詩「岡城桜まつり」が開催されました。

岡城桜まつりでは、30年以上歴史のある「大名行列」がメインとなっており、桜名所百選に選ばれた岡城跡から市街地へと練り歩く大名行列はさながら時代絵巻のようです。

また、有志でつくる武者行列の一行も勝どきを上げながら、勇ましく行進していました。

平成24年第1回定例会予算特別委員会報告

170億9250万円

平成24年度一般会計当初予算を可決

3月15・23日の両日、第1回定例会・予算特別委員会を開催し、平成23年度一般会計補正予算(第7号)案と平成24年度一般会計予算案を慎重審査しました。

予算特別委員会委員長 阿部 重幸

補正予算(第7号)については、歳入歳出ともに3億566万5千円の減額で、予算総額は187億9212万3千円となった。

事業費の確定見込みによるものが主な内容で、リサイクルセンター1建設事業2億1790万円、県営土地改良事業4301万2千円、県事業(街路事業)負担金2325万円などを減額、強い農業・経営体づくり交付金(トマト選果機)事業2億1078万1千円、団体営土地改良事業2000万円などを増額した執行部案を全会一致で可決。

平成24年度一般会計予算については、歳入歳出ともに170億9250万円で、前年度比7億8100万円44%の減額となった。

主なものとして歳出では、総務



予算特別委員会の審査風景

費では岡藩城下町400年祭記念事業2976万2千円など0.8%増の24億5751万2千円、民生費では介護施設の建設事業の終了により2.7%減の46億3953万9千円、衛生費ではリサイクルセンター建設事業の終了により45.9%減の9億7411万7千円、労働費では緊急雇用創出事業の終了により61.9%減の8192万8千円、農林水産業費では中山間地域等直接支払交付金5億3568万2千円など45%増の20億743万4千円、商工費では史跡岡城跡基本構想策定事業365万1千円など13.4%増の4億533万9千円、土木費では道路新設改良費3億5750万1千円など36%増の12億1420万2千円、消防費では消防庁舎建設事業7337万6千円など47%増の7億3372万6千円、教育費では竹田幼稚園建設事業6250万円など11.1%増の15億2330万2千円。市債を償還する公債費では新規発行債の抑制、繰上償還による公債費負担の軽減を実施し7.5%減の24億6431万円。

歳入では、市税0.3%増の18億4385万7千円、地方交付税1.2%増の87億円を見込んでいる。

審査の結果、全会一致で原案を可決した。



作業部会の阿部座長から、議会基本条例の取組状況と今後のスケジュールについて報告を受ける議会改革調査特別委員会のメンバー (2/15)



昨年3月11日に発生した東日本大震災から1年を迎えるにあたり、被災地の日も早い復興と、尊い命を奪われた多くの方々のご冥福をお祈りし、全員で黙祷を捧げました (3/6)

「市民との意見交換会」を開催しました

平成24年4月21日(土)・25日(水)・28日(土)

開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、竹田市の住民福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指すのが市議会の役割です。



4月21日(土) 竹田分館にて

竹田市議会では、平成17年の市町合併以来、行財政改革や議会機能強化の観点から、議員定数・議員報酬の削減や会派制の導入など、様々な改革にいち早く取り組んでまいりました。

議員改選後の平成21年6月には、さらなる改革を進めるため、議会改革調査特別委員会が設置され、11項目について様々な調査研究を行ってまいりました。特別委員会としては、平成22年12月15日に中間答申を行い、これまで議員定数の削減や政務調査費の見直し



4月21日(土) 松本分館にて

など、結論を得られたものについては、順次、実施に取り組んできたところであります。

こうした中、「意見交換会の開催」についても実施すべきであるとの意見が出され、昨年5月には、議会改革調査特別委員会のメンバーで佐伯市議会の議会報告会を視察いたしました。また、政策条例の制定や市民意見交換会の開催など、様々な改革に取り組んでいる大分市議会にも視察研修にまいりました。これらの視察内容を参考としながら、特別委員会で協



4月21日(土) 入田分館にて

議を重ねた結果、開かれた議会を目指す竹田市議会としても、市民の皆様の声を直接お聞きする機会を持つべきであるということとなり、今回の開催の運びとなったわけでございます。

私どもといたしましては、今回が初めての試みではありますが、この意見交換会を通して得られた市民の皆様のご意見を、今後の政策提言や議論の活性化に活かし、さらなる市民福祉の向上に努力する覚悟でございます。

代表質問

代表質問は、毎年第1回定例会で、会派の代表者が具体的政策について質問するものです。

3月9日に4会派の代表者による代表質問が行なわれましたので、お知らせします。

なお、原稿は議員本人が執筆しています。



緑風会
中村憲史 議員

大蘇ダム

中村 関係改良区との信頼関係構築にどのように取り組むか。

市長 関係改良区と、より一層の對話の機会をこれまで以上に設け、お互いの信頼関係に努める。

中村 財政負担、市民への説明はどのように。

市長 多額の負担金を支払う以上竹田市全体の大きな問題として、市民に情報を提供し理解を求める。

中村 償還計画は。

市長 過疎債が利用できない可能性が浮上してきた。本事業は国営ということから、当然それに代わる地方交付税による財源措置を強く要望する。

中村 後年度負担はどうなるのか。

市長 25年度以降の対応については、国から方針が示されていない。

国の納得できる対応が示されない限り、それに対する費用負担や管理等の対応は困難である。

指定管理者制度

中村 公の施設、公設民営、指定管理に関する検証状況は。

副市長 検討結果（公の施設の将来計画）は、今議会において議員の皆さんに配布する。

中村 決算状況を把握しているのか。

副市長 毎年度終了後に市に対して事業報告書を提出させ、経営状況を把握している。

中村 恒常的に繰り入れされている施設があるが、今後の考えはどのように。

副市長 施設の運営形態等によって異なるために個別に協議して、経費が適切なものか常に見直す必要がある。

中村 運営審議会を設置しては。

副市長 指定管理料を市が負担している施設について、妥当性があるかどうか審査する外部有識者による組織を24年度に立ち上げ、厳正な審査を行っていく。

中村 やすらぎ観光公社、直入荘を含めた組織の見直し、高原荘との一体的な戦略を要望する。

このほか、地域審議会より答申があつたマラソン大会等を活かした地域おこし、直入荘の改修を視野に入れた国民宿舎（久住高原荘・直入荘）などへの合宿の受け入れ態勢の充実、新たな計画が策定されている農業振興地域の見直し等々の質問を行った。



新風会
日小田秀之 議員

東日本大震災を振り返って

日小田 東日本大震災から一年、被災地に対する市としての今後の支援体制と対応方針は。

総務課長 4月以降は支援連絡室を総務課内に置き、各支所のいきいき市民課と共に義援金の受付等を継続して行っていく。また夏休み等の一時避難に備え、公設施設に限り受け入れを行っていく。支援物資や人的支援についても、被災地の要請があればニーズに合ったものを的確に送り込む態勢を取っていく。

日小田 防災計画の見直しが必要ではないか。

総務課長 本市は震災後の昨年6月に防災活動職員初動マニュアルの改正を行った。近く県から示される地域防災計画を参考にしながら、災害



仙台市へ出発する「緊急物資輸送車」

地域（へき地）医療対策について

日小田 市の中心部を除き周辺部はいずれも無医地区が多く、医療過疎が顕著となっている。へき地医療対策に対する市長の所見は。

市長 竹田市の地域医療の充実と豊肥医療圏のあり方についてしっかりと提言のできる組織の立ち上げが喫緊の課題だということを捉えて、「竹田市地域医療推進協議会」を新たに立ち上げることにした。豊肥医療圏の存在意義を豊後大野市とともに確認しながら、情報交換の場を設け、地域医療に関する要請活動を強化していく。加えて、竹田市立こども診療所に新たに事務長を置き、管内医療機関との情報交換に努め、医療機関と共にへき地医療の充実に向けた体制の構築を考えている。

日小田 宮砥地区が検討している

「福祉施設はくすい」での巡回診療・介護福祉・生活支援をパッケージとした事業構想（企画）を成就させるためには市の支援が必要だが、同地区の地域振興策を含めた市長の見解を伺う。

市長 巡回診療については、許認可の問題もあるが、実践しても良いと言ってもらっている管内医療機関もある。ただ医師会と医療機関との関係をしつかり構築してもらう必要があり、これが超えられれば巡回診療も可能だ。

また、きめ細かな福祉施策の一環として南部地域における暮らしのサポートセンター構想の実効性についても是非検証してみたい。はくすい施設については、NPO法人の交流拠点構想の声もあるので、竹田総合学院構想の南部版として地域振興に連なる複合的な戦略展開を視野に入れていきたい。

このほか「こども診療所」及び「公民館（分館）活動の活性化について」質問した。



仁政クラブ
吉竹 悟 議員

行財政改革について

吉竹 合併以来7年が経過した。行

財政改革は重要課題である。市長就任以来3年が経過しているが、その成果と今後の課題を伺う。特に職員数の在り方についてはどうか。

市長 5年間の集中改革プランでの節減額は、行革7億9350万円、財政改革47億1630万円で合計55億980万円である。職員数は5年間で87人を削減し、22年度は6名削減した。今年度は9名の削減予定。4月時点では、消防署を含め420人となる見込み。しかし、類似団体と比べると多い状況なので行革に努める。今後の職員数は、行政サービスの低下を招かぬよう32年まで2名から6名以内の採用を行う。また、民間活力を活用する「フロート構想」を考えている。フロートは、「経済活性化促進協議会」「農村商社わかば」「暮らしのサポートセンター」「総合まちづくりセンター」である。

岡城跡の方向性とエコミュージアム構想でのまちなか再生の戦略と400年祭記念事業について

吉竹 「城下町シンポジウム」では、『たたき台の提案』が示された。今後、「駅前エントランス」「本町通りの賑わい創出」「歴史文化ゾーンでの新図書館建設」等を、どう展開するのか。

市長 エコミュージアム構想の基軸となる「城下町再生プロジェクト」



シンポジウム「城下町再生の青写真を探る」(2/5)

に取り組んでいる。関連事業に、図書館建設構想や都市計画道路、コミュニティ機能の再生に向けた空き店舗対策、歩行者空間の整備、公共施設の活用などの市街地活性化、情感あふれる景観形成など多くある。図書館建設は、歴史ある岡藩城下町の文化的中核施設として役割が待ち望まれている。

岡城への登城方法はもちろんだが、ガイダンスセンターの役割や岡城の見せ方を考慮した計画が必要だ。専門家を交えて協議していく。

周辺地域のまちなか再生は

吉竹 岡城や城下町の再生は重要であるが、周辺部のまちなか再生も同じように進める必要がある。その考えは。

市長 竹田の商店街も3地域の商店街も過疎化や高齢化に加え、大型店の郊外進出、車社会の進行で厳しい

状況は承知している。都市計画マスタープランは、全域を連動させ相乗効果をなし、市全域が再生し、蘇ることができると考えている。地域で最も象徴的な素材に磨きをかけ、空間の履歴を刻むエコミュージアム構想の実践をする。

このほか、農村回帰・国保・CA TV・生活飲用水について質問した。



新政クラブ
足達 寛康 議員

保険・医療

足達 耳鼻咽喉科医療機関早期設置の進捗状況を伺う。

市長 多くの市民が希望しており、近いうちに専門医と意見交換をした。また、市内に耳鼻咽喉科の設置を検討したいという医療機関がある。市としては医師会・県・大分大医学部と協議を重ねて、早期に誘致等に努める。

TTPP参加を踏まえ

足達 TTPP参加を踏まえ、特に農業部門は非常に厳しい状況だが、交渉内容と今後の対応について伺う。

農政課長 日本政府は本格的な事前交渉に入っており、最大の相手国は

米国で全品目の自由化が求められている。参加の段階では関税撤廃の例外や除外は認められず、農業は壊滅的打撃を受けると予想される。今後は国の農業振興策を注視し、事業化を実施していく。

足達 TPP参加による公的医療制度への影響はないか、また今後の対応について伺う。

健康増進課長 公的医療制度の崩壊が危惧されるが、絶対にあつてはならない。今後は国や県からの情報収集に努め、機を失する事なく対応する。

足達 TPP参加で牛肉の輸入規制緩和による安全性は。また今後の対応について伺う。

畜産振興室長 協議中なので安全性については示すことができない。なお、今後は国の動向を見極めながら事業を推進していく。

足達 TPP参加で入札制度に外国資本が参入可能と聞くと、地元業者や建設関係従事者への影響について伺う。

入札・検査課長 外資の参入は竹田市は該当しないが、入札条件が緩和されれば、国内の大手業者が進出し、地域経済への影響が懸念される。
足達 TPP参加には賛否両論あるが農業が、基幹産業の竹田市は大打撃を受ける。首長としての総括的な見解を伺う。

市長 賛否両論ある中、国の動向も

重要だ。確かに参加すれば大変な事態を招くのは必至だが、今後は色々な実践の下での基盤づくりが必要だ。

足達 畜産に対する数々の事業を展開しているが、将来の竹田の畜産を展

一般質問

第1回定例会では、3月12日・13日の2日間に9名の議員が登壇して、一般質問を行いました。
その内容を要約してお知らせいたします。



仁政クラブ
岩屋千利 議員

市長立候補時の公約について

岩屋 市長就任から3年、各種公約に対する取組と成果は。

市長 「自らの報酬30%カット」は任期中は継続する。「花水月を再生します」の公約は、関係者の御理解をいただき、観光、健康、食品等の分野を集結させた。来館者は10万人を超えた。「ケーブルTV事業は内容を精査し有効活用を図る」の公約は、同事業が既に着手しており、職

考えると、安福久の保留及び、購入に「補助金十万円、五年間無利子の二十万円貸付、増頭条件なし」くらいの思い切った施策をするべきと思うがこの点について伺う。

を実施している。将来の地域畜産のために検討する。
このほか全国には桜や梅の名所は多い中、竹田らしさを活かした花木の植栽をし、公園・森・道作りをしては等の質問を行った。



2010年4月にオープンした道の駅すごう

員と共に加入率アップに努力。今後は、情報の確な配信等、有効活用資する。「地域医療の確立」の公約は、待望
久しかった市立こども診療所を開設、黒字で推移、その財源をもとにワクチンの無料化等手掛けた。「支所機能の見直し、充実」は、市民の声が即施策に反映できるよう、体質の改善に努力。「竹田方式の農業、観光物産協会の設立」では関係者の協力を得、農村商社わかばを設立、関連施設の売り上げは約8億と大幅に増加、「久住校を日本一の農業高校に」は、市民の会を新たに発足、市を挙げた積極的な取組をしている。「直入荘の再生」については、検討の結果、大多数の民意は存続であり、市が取り組んでいる温泉療養制度と連動、国民保養温泉地の中核施設としての活用も考えたい。

市独自の活性化対策について

岩屋 市長は先の所信表明で基金を原資とした、市独自の緊急経済対策の取組を明言したが、この件の具体的な内容は。

財政課長 当該年度末で基金残額が40億円強、市長が言われたように地域に活性化をもたらす基盤づくりが重要と考える。

県道庄内久住線について

岩屋 庄内久住線は東の玄関口で生命線、早期の整備促進を。

建設課長 同路線は主要地方道であり、広域的な観光振興を図る上からも積極的に取り組む。



新政クラブ
後藤憲幸 議員

ヘリポートの建設について

後藤 県も9月からドクターヘリの

運行を計画している。どのような計画があるか。

消防本部消防長 医師、看護師が搭乗し初期治療しながら大分大学医学部まで送る。県下全域を対象としている。

後藤 消防署から遠い地域にヘリポートを建設し、住民に安心を。消防本部消防長 できるだけ多くの場所を選定し「防災ヘリとよかせ」を使用し救急医療体制の整備をする。

有害鳥獣対策について

後藤 自衛隊の出動要請を国に要望できないか。

農政課長 北海道では地元猟友会と合同でエゾシカの捕獲をした事例がある。出動要請はハードルの高い事例であるが市長会を通じて国に要望していく。

後藤 箱ワナ・電気柵の現状は。

農政課長 電気柵については希望者全員に行き渡るように予算化している。また箱ワナについては、740万円投入し設置している。

地域商品券について

後藤 年末に実施された地域商品券の販売状況は。

商工観光課長 10%のプレミアム付の商品券は大変関心が高く、現在の換金率も84・7%になっている。

後藤 今後の計画として盆と年末に定着実施しては。

商工観光課長 盆と年末の定着実施には一考を要するが、購買意欲を増やすことは良い。今後の実施方法を検討していきたい。

携帯電話の電波対策について

後藤 携帯電話の電波が届かない地域がある。対策を考えては。

ケーブルネットワークセンター長 通信エリアの拡大、基地局の建設等携帯事業者に働きかけている。今後とも国や県に要望していく。



新政クラブ
本田忠 議員

稲葉ダム周辺の整備について

本田 今後の稲葉ダム周辺の整備は。



農家レストラン「ふるさと薬膳あじか野」がオープン (4/21)

建設課長 県により整備された黄牛の滝遊歩道やひょうたん島公園等は、管理を地元管理組合へ再委託し、環境整備に努めている。市としては農産加工所、コミュニケーションセンター、温泉館等を整備し、温泉館は建設期成会と共同で整備を行って

いる。今年度は農産加工所に農家レストランを併設、分館の整備を進めている。

「紫草の里営農組合」について

本田 農事組合法人「紫草の里営農組合」の取組について。

農政課長 紫草の里営農組合では、高収益のワレモコウや地域の歴史、文化に関わりのある紫草を栽培している。特に紫草は、蘇らせただけでなく、染色家を招いて交流会を開催するなど地域活性化の原動力となっており、大分県農業賞「集落営農・むらづくり部門」で特別賞に輝いた。市としても工房や展示場等新たな拠点づくりを検討していきたい。

玉来ダム事業について

本田 玉来ダムの本体工事に向けての建設準備は。

建設課長 事業説明会や用地測量説明会を開催し、関係自治会や地権者に理解をお願いしている。また、用地補償等の交渉を一本化し、円滑に進めるため「玉来ダム対策協議会」の設立を進めている。今後は、ダム

本体の詳細設計を実施すると同時に、境界確認作業を進めていく。

道の駅竹田の整備と地元の関係

本田 15周年を迎えた「道の駅竹田」の整備と地元との関係は。

農政課長 道の駅竹田は、平成22年に「農村商社わかば」への組織再編と同時に直売所を拡張した。これまでの諸整備の効果もあり、販売額は飛躍的に伸びている。地元城原地区からもアンテナショップ会員に多くの方が参加し、運営にもご支援をいただいている。また、15周年記念感謝祭では、自治会長会や地域活性化協議会の方々に実行委員としてご協力いただいた。今後も竹田ならではの情報発信拠点として位置づけ、地元の協力をいただきながら活動を進めていく。



新風会
阿部雅彦 議員

子育て支援の取組について

阿部 小・中学生に対する通院と入院にかかる医療費のさらなる軽減はできないか。

健康増進課長 子育て世帯の環境整備を行う上でも重要なことではあるが、市の財政状況等を勘案しながら

ら、今後の重要な検討課題とさせていただきます。

「竹田市男女共同参画推進室」の設置について

阿部 竹田市男女共同参画プランの取組の成果と課題を整理して、内容をより充実させるために推進室を設置してはどうか。

総務課長 当面は関係各課が連携しながら、現体制で推進したい。男女共同参画プラン策定から5年経過しているので、新年度は中間検証として意識調査を実施し、その調査結果をもとに「男女共同参画社会の実現」へ向け、今後の施策に反映させていきたい。

「まちづくり工房」の実践と今後の各地区のまちづくりについて

阿部 各地区のまちづくり工房で提案されているプロジェクト案を実現させていくために、この取組を継続させてはどうか。

建設課長 市長が所信表明で述べた4つのフロート構想の一つである「総合まちづくりセンター」の設立は、まちづくりの方向性を担うものであり、これを活用しながら先ずは、各地域で議論ができる組織を立ち上げていただきたい。行政としては積極的に対応していきたい。

「花水月」の取組について

阿部 この一年の経営状況から今後の運営をどう考えるのか。

商工観光課長 業績はアップしているが燃料代高騰対策として代替燃料を検討していきたい。

このほか花水月を拠点にした健康増進や商工観光振興の取組について質問した。



新風会
森哲秀 議員

農業問題について

森 米生産農家の所得向上に向けた取組は。

農政課長 竹田市の米は等級が高く美味しい米として卸売業者に高い評価を得ている。特別栽培米を東京の三星レストランと直接取引をしている農家もいる。営農座談会での肥培管理や適期刈り取り米の成分分析の実施で、食味の良い米作りに取り組む。持続的に米作りを進めるために、竹田市農業生産協議会で生産の合理化・コスト縮減のため集落営農や法人化を進める。農業者戸別所得補償制度の充実を図る。

森 今年度の生産調整の取組は。

農政課長 米の需給実績や生産実績

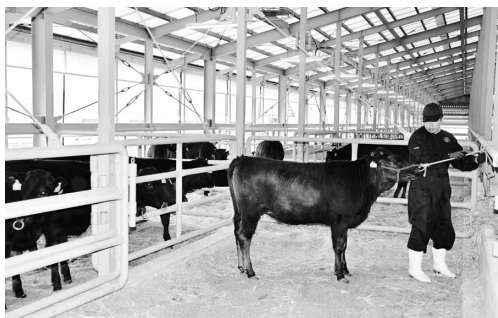
を基に計算し配分する。配分に対して生産が少ない地域、生産しても在庫の多い地域は年々配分が減っている。水田経営面積を一律に61・8%配分し、その後、生産者間調整をする。

森 安全・安心な農産物づくりは。

農政課長 残留農薬の検査や農業生産工程管理が整った農業のやり方を徹底する。竹田市クリーン農業推進協議会による特別栽培認証制度の取組、アンテナショップ出荷協議会の運動等で趣旨の徹底を図る。

森 竹田市の畜産は依然として低迷している。今後の対策は。

畜産振興室長 牛肉の消費が大きく落ち込む中、枝肉価格の下落で肉用牛の子牛相場も全国的に低迷が続いている。竹田市に100頭規模の肥育施設が完成し、4月から導入が始まれば、価格の上昇が期待される。



地元産肥育素牛の初入室式 (4/13)
(株)ゆふいん牧場久住農場にて

受精卵移植事業も稼働される環境が整い、県外種雄牛の活用で高値牛の生産を図る。

教育問題について

森 武道必修化に伴う対策は。

学校教育課長 生徒の健康状態を把握し、用具などの安全点検を徹底する。技能に応じた無理のない学習内容を組み立てる。



仁政クラブ
徳永信二 議員

大蘇ダムについて

徳永 国営事業大蘇ダム浸透抑制対策工事及び地域用水需要の検証の状況は。

農林整備課長 平成22年から24年の3か年、総事業費8億4千万円をかけ、浸透抑制対策工事が行われている。本年度は、予定面積1万900㎡に、コンクリート吹付け工事をする。また、地域用水需要の検証については、九州農政局より、まとまり次第情報は伝えられる。25年度以降の方向性についても、25年度予算の概算要求前に決定したいと返事をいただいている。

徳永 竹田市大蘇ダム対策協議会設立趣旨と組織のあり方は。



大蘇ダム

農林整備課長 国からの大蘇ダムの対応や方針、また国営事業費負担や維持管理等を含め、大蘇ダム全般に必要な事項を各関係者から広く意見を伺い、竹田市としての方向性、適切な判断を下すため設置した。今後はこの協議会で協議する。

徳永 大蘇ダムの水を利用した農業施策は。

農政課長 県営中山間総合整備事業で、水田畑かんも認められ、畑かんと同様の施設の整備ができるようになった。自動かん水施設などによる省力化を進め、高齢化に対応できるような生産性、収益性を高め、農業所得の向上を図る。また、ブランド産地確立のために、営農面では、まだまだ支援の必要がある。若い生産者や新規就農者にとって、魅力ある生産環境を整える。

このほか、農業振興と観光振興について質問した。

緑風会
坂梨宏之進 議員

竹田市の農業政策について

坂梨 農業労働災害保険の取扱いについては、豊後大野市では市が窓口であるが、竹田市の考えは。

農政課長 豊後大野市は、合併以前からの取組であるが、生命保険との重複などから加入者の増加に繋がっていない。この窓口は農業団体等が執り行うことが望ましい。今後、各関係機関と対応を協議する。

坂梨 竹田市単独土地改良事業の執行状況は35%であるが、この状況をどのように捉えているか。

市長 臨時交付金を活用しながら過年度申請分を優先しているが、年々申請が増加し思うように消化ができない。今後、補助事業の適用が可能な制度事業の有無を探りながら期待に添うよう努める。



市単土地改良事業で完成した道路

自治会について

坂梨 自治会の再編は考えているの

か。
総務課長 地域コミュニティを維持するために地域行政区再編計画に則り、十分な地元協議を行いながら進めていきたい。

坂梨 認可地縁団体の考えは。

総務課長 自治会の不動産登記などにおいて非常に有効であると認識している。一定の条件や制限があるので各自治会の状況により、メリットがあるのか、ないのかを判断することが重要と考える。

観光振興について

坂梨 竹田城下町の情感あふれるまちづくり構想をやり遂げるには岡城跡の観光客増大などの再構築が必要と考えるが。

商工観光課長 観光客数の落ち込みの原因は旅行形態の様変わりや登城方法にあると考える。指摘のようにエレベーター等を使った登城システムの構築にチャレンジする必要があると考える。

新政クラブ
渡辺克己 議員

竹田市民健康保険税について

渡辺(克) 国保税が高い現状は市の高い高齢化率にあると思われる。県下

の高齢化率の高い5市で計算すると2・5万から6万円高い現状にある。保険税は、所得が少ないため税が軽減される「軽減世帯」、所得が多いため税額が最大77万円で打ち切りとなる「限度額世帯」、それ以外の「中間世帯」に分けられる。22年度決算額で国・県・市・加入者の負担割合はいくらか。前記の所得額の差がある3ランクの世帯数、被保険者数、保険税額はいくらとなるか。

保険課長 (22年度決算額で答弁。)

税務課長 (それぞれの世帯数・被保険者数・保険金額を答弁。)

渡辺(克) 保険税額決定には、予定収納率で割り戻したものを使用するため高く設定されているがよいのか。

税務課長 国からの通達により行っている。

渡辺(克) 滞納者については「短期保険証」、一時的に全額負担となる「被保険者資格証明書」の発行ができるが、発行状況と発行の基準は何か。

税務課長 「短期保険証」の交付世帯372世帯、「被保険者資格証明書」の発行は12世帯である。基準は市の資格証明書等交付要綱である。

渡辺(克) 減免の規定はあるが、延納の規定を追加してはどうか。

税務課長 他市にある猶予規定の取り扱いを検討する必要がある。

渡辺(克) 限度額世帯及び中間層世帯の世帯数43・3%が保険税の78・3%を負担する現状から中間層の負

担軽減のため公費負担を検討すべき
と考えるが。

市長 高齢者や所得の少ない人達への政策としての対応として、基礎自治体として摸索する時期に来ている。竹田市の重要課題として受けとめる。



新政クラブ
渡辺龍太郎 議員

私学振興と支援について

渡辺龍 竹田市には学校法人「稲葉学園」がある。竹田南高校としらゆり幼稚園を持つ私学だ。竹田南高校には、竹田市以外から竹田市に住民票を移した約100名の生徒が学んでいる。これを竹田市はどう捉えているか。

総務課長 定住促進、経済的効果、職員の雇用等、多大な効果があり、加えて地域に根ざした生徒の活動で街に賑わいを創出していると認識している。

渡辺龍 少子高齢化の進む竹田市で市外からの100名の生徒が竹田市に籍を置き生活することの社会的意義は計り知れない。竹田市の地方交付税の算定にも役立つと思うが、一人当たりが分かるか。

財政課長 竹田市の普通交付税に教

育費として直接に措置がある訳ではない。市外から学校の寮等に転居している場合、市の人口にカウントされるので、間接的に普通交付税の基準財政需要額に算入される。市外からの110名の生徒の、平成23年度普通交付税に算入されている基準財政需要額は、約1562万円で、生徒一人当たり14万2千円となる。

渡辺龍 私立学校の可能性は無限大であり、竹田市と一緒に努力をすれば大きな戦力になる。今後の取組と執行部の考えはどうか。

市長 歴史あるすばらしい地域貢献を続けている竹田南高校なので、さらにご健闘いただき発展するように、私達も行政の立場から応援できるように学校関係者との意見交換でより充実した支援対策を練り上げていく。



学校法人「稲葉学園」竹田南高等学校

岡城跡公開活用。議員研修報告

社会文教常任委員長 佐田 啓二

岡城をより魅力的に

年々減り続ける岡城跡の入場者、本年2月には、契約満了により岡城会館は取り壊され更地となった。岡城再生の取組は急務である。これらの情勢を踏まえ、市は平成23年度に「岡城跡公開活用検討委員会」を立ち上げ、作業に入っている。

今回の全議員による研修（2月22日実施）の目的は、岡城跡の3つの課題の内の①施設の設置②登城手段（3つ目の伐採・植栽は実施中）の2点の解決策を探ることであった。

研修先は、九州国立博物館、太宰府天満宮、熊本城である。九州国立博物館は、太宰府天満宮との高低差が大きいため、その導線を動く歩道とエスカレーターで結ん



サンチャゴの鐘
（九州国立博物館にて）

でいる。両施設の距離はかなりあるので、移動弱者のみならず健康者にとっても心身ともに負担は軽減されると思われる。なお、サンチャゴの鐘はメインで展示されており誇らしく思った。



熊本城にある桜の馬場「城彩苑」での研修風景

熊本城では、桜の馬場「城彩苑」を研修した。桜の馬場は熊本城のエントランスに当たることから、この地にガイダンス施設と観光客の滞留時間を拡大するための交流・賑わいの施設を整備し、桜の馬場「城彩苑」と命名している。その構成は総合観光案内所、城内周遊バス・熊本駅への連絡バスの発着所、23の飲食店からなる「桜の小路」、楽しみながら歴史が分かる、歴史文化体験施設「湧々座」からなっている。まさに、岡城跡のエントランス部分として欲しい施設がそこにあった。これらを如何に竹田仕様にしていかがが課題として見えてきた。

平成24年第1回定例会（平成24年3月6日～23日）

議案・陳情・意見書等の議決結果

議案第1号	平成23年度竹田市一般会計補正予算（第7号）について	可	決
議案第2号	平成23年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算（第3号）について	可	決
議案第3号	平成23年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	可	決
議案第4号	平成23年度竹田市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	可	決
議案第5号	平成23年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）について	可	決
議案第6号	平成23年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）について	可	決
議案第7号	平成23年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第3号）について	可	決
議案第8号	平成23年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計補正予算（第3号）について	可	決
議案第9号	平成23年度竹田市水道事業会計補正予算（第3号）について	可	決
議案第10号	平成24年度竹田市一般会計予算について	可	決
議案第11号	平成24年度竹田市立こども診療所特別会計予算について	可	決
議案第12号	平成24年度竹田市畜産開発事業特別会計予算について	可	決
議案第13号	平成24年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計予算について	可	決
議案第14号	平成24年度竹田市国民健康保険特別会計予算について	可	決
議案第15号	平成24年度竹田市後期高齢者医療特別会計予算について	可	決
議案第16号	平成24年度竹田市介護保険特別会計予算について	可	決
議案第17号	平成24年度竹田市簡易水道事業特別会計予算について	可	決
議案第18号	平成24年度竹田市農業集落排水事業特別会計予算について	可	決
議案第19号	平成24年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計予算について	可	決
議案第20号	平成24年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計予算について	可	決
議案第21号	平成24年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計予算について	可	決
議案第22号	平成24年度竹田市水道事業会計予算について	可	決
議案第23号	竹田市名水・名湯保全条例の制定について	可	決
議案第24号	竹田市行政組織条例等の一部改正について	可	決
議案第25号	竹田市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	可	決
議案第26号	竹田市コミュニティバス運行条例の制定について	可	決
議案第27号	竹田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可	決
議案第28号	竹田市財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一改正について	可	決
議案第29号	竹田市税条例の一部改正について	可	決
議案第30号	固定資産税及び都市計画税の納期の特例に関する条例の一部改正について	可	決
議案第31号	竹田市手数料条例の一部改正について	可	決
議案第32号	竹田市火災予防条例の一部改正について	可	決
議案第33号	竹田市印鑑条例の一部改正について	可	決
議案第34号	竹田市介護保険条例の一部改正について	可	決
議案第35号	竹田市特別会計条例の一部改正について	可	決
議案第36号	竹田市基金条例の一部改正について	可	決
議案第37号	竹田市寡婦医療費助成に関する条例の廃止について	可	決
議案第38号	竹田市分担金徴収条例の一部改正について	可	決
議案第39号	竹田市野外活動施設条例の一部改正について	可	決
議案第40号	竹田市市営住宅条例の一部改正について	可	決
議案第41号	竹田市温泉交流施設萩の里温泉条例の一部改正について	可	決
議案第42号	竹田市国民宿舎直入荘条例の一部改正について	可	決
議案第43号	竹田市公民館条例等の一部改正について	可	決
議案第44号	竹田市文化財管理センター条例の一部改正について	可	決
議案第45号	不動産の取得について	可	決
議案第46号	事務の委託に関する協議について	可	決
議案第47号	事務の委託に関する協議について	可	決
議案第48号	大分市と竹田市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第49号	別府市と竹田市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第50号	中津市と竹田市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第51号	佐伯市と竹田市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第52号	竹田市と杵築市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第53号	竹田市と宇佐市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第54号	竹田市と豊後大野市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第55号	竹田市と由布市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第56号	竹田市と国東市との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第57号	竹田市と日出町との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第58号	竹田市と九重町との証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可	決
議案第59号	指定管理者の指定に関する件について	可	決
議案第60号	指定管理者の指定に関する件について	可	決
議案第61号	指定管理者の指定に関する件について	可	決
議案第62号	市道路線の廃止について	可	決
議案第63号	市道路線の認定について	可	決
陳情第1号	安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の出先機関の存続を求める陳情書	採	択
意見書第1号	安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の出先機関の存続を求める意見書	可	決
意見書第2号	持続可能な介護保険制度を求める意見書	可	決
議会議案第1号	竹田市議会委員会条例の一部改正について	可	決

議員 ふんとう記

「サンチャゴの鐘」に想う
議員研修会・「文化笑論」

可兒 敦彦氏を招いて

竹田市への造詣の深い大分合同新聞社の元文化部長、可兒敦彦氏を招いて研修会を開催した。記者時代、各市の活性化に絡ませて寅さん映画「男はつらいよ」の日田市誘致や鶴見町の演歌「男の港」のできた経緯など笑いを交えて講演。ここでは、抒情演歌「サンチャゴの鐘」への熱い想いの講演の一部を紹介したい。

演題「文化笑論」

講師 大分合同新聞 元特別編集委員 可兒敦彦氏

竹田市議会 議員研修会



可兒敦彦氏を招いて (3/9)

『竹田市出身の後藤貞夫さんは船村徹さんとの縁が濃かったんですね。』

OBS勤務を経て司会業をされ、船村さんとの出会いが重なり、故郷の竹田の町を見てくれんじやろうかと。

船村さんを招待して、竹田の町を初めて歩くのですが、中川神社のサンチャゴの鐘をご覧になったと思うんですね。あのキリシタンの洞窟の前で一時間は優に座り込んでいます。隠れキリシタンの生と死が重なり合った息遣いを含めて感じ取ったのじゃないかな。この想いを作詞家の横井弘さんに伝えるのですね。栗色の髪に生まれた女性と竹田の青年との恋愛劇を隠れキリシタンの歴史の中に明らかにしてみたいという想いがあつたんですね。そのロザリオと海を越えて会えないけれども、いや、青年はきつと会えると。トンネルの中の風のやさしさがね、その栗色の髪のしなやかな女性の肩を想い出させる。きつとその恋は実際に成就するという形にならなくも、どこかで若い二人の心の中に残りあうという気がするのですね。

船村徹さん、この一曲の唄にどれ程の愛情を持っているか。竹田の町を愛したその想いに私たちはもう多くのことはしたくないですね。その愛情返しだけをやっぱりやりたいなと強く思うのです。』

議長 加藤 正義

市議会 ホームページ

本会議の会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を掲載しています。



竹田市議会 で 検索

竹田市議会

<http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>

岡城桜まつりに参加しました (4/1)

岡城桜まつりに参加して

4月1日、好天に恵まれた中、岡城桜まつりが開催された。大名行列に加藤議長と岩屋・阿部（雅）両議員が、甲冑武者行列に日小田議員と私が参加。そして、遠くは海外や福井県からも参加。中でも、「女武者行列」が未だ蕾の桜の花に代わり祭りを一層引き立てた。子供武者も多くの観客の目を引いていた。遠い昔、学生の頃観た桜まつり。人垣が二重三重、多くの観客の中で勇壮に練り歩く行列に感動したことを思い出す一日となった。

吉竹 悟

あとがき

竹田市の健康づくりに対してのアンケート調査が実施された。その意見の中に「トレーニング施設や温水プールで運動したい」「身近な地域に運動できる環境がほしい」という声が結構多かった。「食生活の習慣」を考えると共に、「運動」をして健康な体づくりを望む市民の皆さんの思いは強い。「小さな自治会ごとに生活する人が皆元気であれば、竹田市全体が元気になる。」という市民の方の声に身近な所からの健康づくりの大切さを感じた。(阿部 雅彦)